

## 平成24年9月県議会 主な論点

## 【教育委員会制度】

教育委員と定期的に様々な教育問題について意見交換しており、教育委員会と共に福井県が全国に誇れる教育力を発揮できるよう、更に努力していく。

[知事－石橋壮一郎議員]

学力向上や心の教育、教員の資質向上など様々な問題に全力で取り組み、全国に誇る福井の教育力を更に高めていく。[教育委員長職務代理者－石橋壮一郎議員]

## 【福井型18年教育】

夢や希望を持ち、心豊かな人間性を育てるとともに、その目的、夢を実現できるような学力が身につくような形での、幼児期から小中高を通じた一貫教育を進める。[教育長－細川かをり議員]

## 【教員の多忙化対策】

県独自の少人数学級編制や、生活支援員・特別支援非常勤講師配置など、全国に比べ手厚い教員の配置を行っている。

教員がICTや教育情報フォーラムの活用により、授業準備の省力化でき、授業の進め方も変わってくる。

今後も学校と情報を共有し、対応していく。[知事－西本正俊議員]

## 【中高一貫教育】

新たな高校教育として、併設型中高一貫教育の導入を検討し、福井の教育力の一層の向上を目指す。[知事－山本正雄議員]

## 【高校再編】

坂井総合産業高校については、農業・商業・工業の学科の壁を越えた職業教育ができるよう、各学校が連携して校内実習の在り方や、地元の企業関係者などと校外実習の在り方の検討を始めており、年内にも考え方を取りまとめ、来年度からは中学生への説明を丁寧に行う。[教育長－西畑知佐代議員]

## 【教育研究所等のあり方】

教育研究所、青少年センターについては、解体、移転等を前提に、移転する機能や移転先の選定などを、国体開催時の駐車場対策などとあわせて福井運動公園エリア全体の一体的な活用についても検討をしていく。[教育長－野田富久議員]

## 【キャリア教育】

学校教育の中で、自分の将来についてじっくり考える時間を持ち、インターンシップや実体験をいろいろ経験しながら、希望や目標を達成するために必要となるいろんな能力を高める努力を促していく。[知事－大森哲男議員]

## 平成24年9月県議会 主な論点

### 【幼児教育】

「幼児教育支援センター」は、幼児教育現場の支援とともに、家庭教育の向上に向けた研究、県内各地域の家庭教育へのアドバイスを保育所・幼稚園と連携して進める。[教育長一田中宏典議員]

### 【いじめ等問題行動対策】

いじめ等にも適切に対応できるよう、県の教育委員会も率先して、学校訪問や県立学校長会との意見交換を行っている。

今後とも、学校や地域、家庭とも連携し、福井の子どもの健全な成長に全力を尽くす。[教育委員長一仲倉典克議員]

『「いじめ等問題行動をなくす」福井県全体会議』を開催し、PTA等の関係機関と連携して、いじめの早期発見に取り組むことを確認。速やかに対応する体制づくりを更に進めるため、9月中に改訂した「いじめ問題対応の手引き」をすべての学校に配付。[教育長一仲倉典克議員]

### 【福井国体（施設整備、選手の育成強化）】

県有の施設整備については、国体基準に適合するよう県営体育館の新築などを行う。また、市町の施設整備は、来年度から補助制度を創設したい。

選手の育成強化については、競技力向上対策本部が主体となり、強化指定選手の認定や、用具の整備の支援を始めている。来年からは競技ごとに重点的な選手強化を行う学校を指定したい。[教育長一仲倉典克議員]

### 【通学路の安全】

車道と歩道の区別のないなど、安全対策が必要な箇所は約570箇所。横断歩道の補修、大型車両の進入禁止規制、歩行者の視界を妨げる立看板やのぼり旗撤去を行い、国のアドバイザーの意見を聞きながら警察や道路管理者等の関係機関と一体となって、子どもの通学路の安全確保をしていく。[教育長一笠松泰夫議員]

[答弁者一質問者]